

八代平野農業水利事業

八代幹線水路(1-2工区) 外改修工事

当現場が位置する熊本県八代市は、水稲を中心に生産量全国1位を誇るい草及びトマトの他、露地野菜等を組み合わせた複合経営が展開され県内有数の農業地帯となっています。

本事業は、一級河川球磨川水系球磨川から取水し、各ほ場に配水するために前歴事業である国営八代平野土地改良事業(昭和39年度～昭和48年度)で整備された幹線水路等の施設について、半世紀が経過し経年的な施設の劣化が生じたコンクリート構造物等の改修を行い、農業用水の安定供給及び維持管理の労力の軽減を図ることを目的とするもので、本工事はその一環として実施するものです。

工事内容は、八代幹線水路 L=432mの補修工(表面処理工、断面修復工、ひび割れ補修工、目地補修工等)を行うもので、工事期間中も農業用水を継続利用するため、仮設水路(コルゲートフレューム)にて迂回させて実施する工事です。

特に工事期間中の断水期間が、月1回、5日間と調整されており、タイトな工程での施工となります。

工事実施においては、仮設水路からの漏水等による営農者、近隣住民及び隣接施工業者への影響が出ないように施工管理に努め、歴史ある八代平野の農業を未来へ継承するために最後まで品質の良いものづくりに努めて参ります。



監督職員からのエール

本工事は、幹線水路に農業用水が年間を通じて通水されている中、月に5日間の断水期間で農業用水の切り廻しを行う必要があり、さらに、次月に設定された断水期間までに水路の補修を終えなければならず、工程管理が非常に重要な現場条件となっています。

また、施工区間は水路に宅地が隣接し、また、通学路の迂回路を設定しての施工となるなど、地域住民との調整も必要となる工事内容となっています。

このような中、現場代理人の吉村所長は、毎朝夕の愛犬との現場周辺の散歩により地域住民と積極的にコミュニケーションを取り良好な関係を構築されていたり、現場を進めるに当たっては、仮設計画の見直しを提案するなど、施工を円滑に進める努力を常にされています。

監督職員が現場に立会に伺った際も、いつもにこやかで、下請業者とも良好な関係を築かれており、発注者側からの突発的な要請にも柔軟に対応していただき、感謝しています。これから、工事は終盤となりますが、最後まで気を緩めること無く、無事故無災害で工事完了の日を迎えられるよう、よろしくお祈りします。

現場代理人

(写真右) 松尾建設株式会社 八代幹線水路作業所

現場代理人 吉村 亮

監督職員

(写真左) 九州農政局 八代平野農業水利事業所

工事第一課長 西 利明

